



仙台正教会
教会だより

2025年
5月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇

TEL(022)225-2744

FAX(022)24-3080

http://www.sendai-orthodox.jp

orthodox@hyper.ocn.ne.jp



しくは朝早い時の挨拶だからとして「平安」とか「おはよう」などと訳したのでろう。

確かに十一門徒たちへの復活の主の第一声は、「平安」(イリーニ)であったが、女性たちへの第一声は、絶対に「慶べよ」でなければならぬのである。なぜなら、この世に「苦しみ(悲しみ、嘆き)」（創世記3:16）をもたらしたのはエワだったから。ハリストスはこの人類の「悲しみ」を「慶び」に変えるために、十字架を忍び、そして復活した。

「ハリストス神よ、爾は復活によりて、携香女に『慶べよ』と告げ、原母エワの悲しみを止め爾の使徒に伝えんことを命じたり『救世主は墓より復活せり』と。」

私たちも、肉体の耳ではなく心の耳で「慶べよ」という神の言葉を聞きたいと願おう。それこそが「救いの喜び」である。(D)

復活したハリストスが最初に口を開いて発したのは、携香女たちに対する「ヘレテ」という言葉であった。「ヘレテ」は「喜ぶ」という動詞「ヘーロー」の複数命令形である。正教会はきちんとこの箇所を「慶べよ」と訳している。ところが他の日本語訳を見るとおかしなことになっている。

文語訳「安かれ」
口語訳「平安あれ」
新改訳「おはよう」
新共同訳『聖協賛共同訳』「おはよう」
フランシスコ会訳「おはよう」

これらは「ヘレテ」を単に挨拶の言葉に過ぎないととらえており、ユダヤ人の挨拶「シャローム」は平安という意味なので、も



受難週および主の光明なる復活大祭



4月14日(月)から始まった受難週の祈祷は予定どおり滞りなく行われ、天候にも恵まれ、聖大スポタの早課（聖大金曜日の夕方の祈り）における十字行も厳かに執り行われた。

アナロイなどの覆いのアイロンがけやセッティング、復活祭の卵染め、復活祭後の軽食の準備など、多くの信徒の奉仕のおかげで復活祭当日を迎えることができた。

今年の復活祭は久しぶりに深夜に行われた。2020年から24年の間はコロナ禍のために縮小されてきたが、6年ぶりに真夜中の復活祭を行うことができた（なぜ深夜に行うのかについては当日の説教を要約したものを本誌5ページに掲載）。

4月19日(土)の23時30分より夜半課を開始、十字行、早課、第一時課、聖体礼儀と慶びのうちに祈りが捧げられた。聖歌隊もテンポよく中断なく復活祭聖歌を歌いあげ、思ったよりも疲労感なく徹夜の讃美を行うことができた。

参拝者数は激減するかもしれないと危ぶまれていたが、50人近くの参拝者で主の復活を祝うことができた。



▲ 4月18日(金) 卵染めの様子



▲ 4月18日(金) 聖大スポタの十字行の様子



▲ 4月19日(土)朝 晩課に続いて行われた
聖体礼儀 装いが黒から白へ早変わり



▲ 聖大スポタの十字行から聖堂に戻り
就寝聖像の下を潜って福音經に接吻



▲ 4月19日(土)深夜 復活祭の開始
多くの信徒の奉仕によって充実した
十字行となった



▲ 聖堂前で「ハリストス、復活」
「実に復活」が8ヶ国語で交わされた
Christus ist auferstanden! (ドイツ語)



▲ 福音経は、セルギイ兄、パウエル兄、アレキ
ザンドル兄の協力により、日本語、英語、ドイツ
語、ギリシャ語、スラヴ語の5ヶ国語で誦読



▲ 復活祭の卵やクリーチなどの成聖
十字架接吻の時に、参拝者につづつ
手渡しして復活の慶びを分かち合った



帰正おめでとう

マルコ Mark Morales 兄

代父:パウエル・コンドラシヨフ兄 代母:ウエラ山中由美 姉

4月19日(土) 復活祭が始まる前、ア
メリカ出身のマーク・モラレス兄がカト
リックから正教会に帰正されました。



消 息

・永眠
四月二日

ソフィア工藤溪子 姉(95歳)

永遠の記憶【中新田正教会】



白河正教会だより

定例巡回

4月5日(土)、6日(日)ダヴィド水口神父が白河正教会を巡回し、エジプトのマリヤの主日の奉神礼を行った。

6日(日)の聖体礼儀に続いて、2月にご永眠されたリヤ・リリヤ・ヴァジェニナ姉の40日祭のパニヒダが行われた。雪深い会津若松の2月ではあったが、リヤ姉の葬儀の日だけは雪が降らず、その後にまた大雪になったそうで、神の摂理に感謝しかない。祈祷後は、会館で糖飯などをいただきましたながらリア姉を忍んだ。

外壁修復補助金のための冊子

白河生神女進堂聖堂の外壁補修が予定されている。県および市より補助金が支給される条件として文化財周知のための物作りが必要とされ、以前は絵葉書を作成した。今回は、故アンフイム平澤敏雄兄が書いた「生神女進堂聖堂の建築」という文章を小冊子にして発刊する予定です。現在、編集中である。

中新田正教会だより

定例巡回

3月29日(土)と30日(日)に、ダヴィド水口神父が中新田正教会において定例の奉神礼を行った。第五日曜日である30日(日)は階梯者イオアンの主日の聖体礼儀が行われ、続けて月例パニヒダも献じられた。

代式祈祷と奉仕



4月6日(日)に、中新田正教会において代式祈祷、および復活祭前の聖堂の大掃除の奉仕作業が行われ。普段、手の届かないところまで丁寧に清掃した。

中新田の復活後の墓地祈祷(黒沢、四日市場、西墓地、東墓地、横沢など)は、4月30日(水)に行われる予定です。

復活祭から五旬祭まで

聖大バスハ(主の復活の祝い)

光明週(天門が開かれたまま)

聖使徒フオマの主日

(復活に対するフオマの疑いと信仰)

聖携香女の主日

(携香女が目の当りにした復活)

癱者の主日

(長年の患いからの復活を意志する)

サマリヤの婦の主日

(命の源であるハリストスとの邂逅)

瞽者の主日

(目が開かれて己と神を知ること)

昇天祭

(神の無尽の愛は人を天に昇らせる)

諸聖神父の主日

(「正教」は聖神が人を導く所に在る)

五旬祭

(聖神は私たちに降臨し続けている)

※「ハリストス復活」「実に復活」という挨拶や、復活祭のトロパリなどは昇天祭の前日まで続けられます。

※聖大バスハから五旬祭までは基本的に痛悔機密や祈祷において跪きません(五旬祭晩課より跪きが始まる)。

なぜ復活祭は深夜なのか

長司祭ダヴィド水口優明

復活祭の祈禱はなぜ深夜に行われるのかについて、さまざま説明がなされますが、ここでは三つの側面からその理由を見ます。

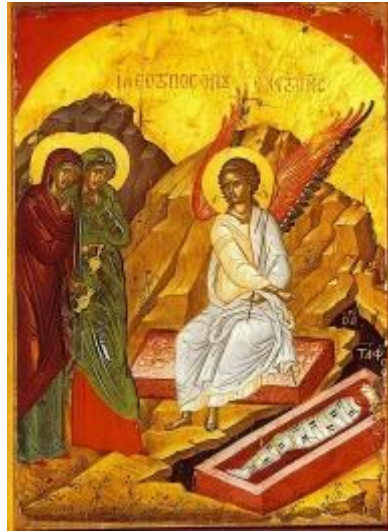
まず一つ目は、旧約の成就として徹夜の復活祭があるということです。復活祭はまたの名を「パスハ」といいます。これは旧約時代の出エジプトを祝う「過越の祭」をヘブライ語で「サハ」というところにさかのぼります。その「過越の祭」を祝うための定めが書かれている「出エジプト記」に次のような言葉があります。

「これは彼らをエジプトの国から導き出すために主が寝ずの番をされた夜であった。ゆえにこの夜、すべてのイスラエルの人々は代々、主のために寝ずの番をしなければならない。」

「寝ずの番」とは、つまり寝ないで徹夜して、起きて、お祈りをするということです。ハリストスも十字架上で死に、一旦眠りましたが、日曜日には復活した、つまり深夜には起きあがっておられたということが出来ます。神はイスラエルの民をエジプトから導き出すために深夜に奇跡を行ったように、そしてその民がそれを深夜に記憶したように、ハリストスは私たち

を「死」から導き出すために復活し、そして私たちはそれを記憶するために深夜に復活祭を行うわけです。

二つ目は、新約の出来事と関連して復活祭を真夜中から始めるということです。ハリストスの復活を最初に知ったのは、墓に香を携えて来た所謂「携香女」たちです。携香女たちは、



週の初めの日に、早朝、日の出のころに墓に行き、ハリストスの復活を知りました。イオアン伝によれば「まだ暗いうち」とも言われています。私たちが復活祭の祈禱を深夜に始めて、そして終わったころ、外はまだ暗いですが、すぐに夜明けはやってきます。つまり、私たちも携香女たちのようにハリストスの復活を明け方に「知る」ために、復活祭を真夜中から始めるわけです。

そして三つの理由として、復活祭は最大の祭であり、大きな祭であればあるほどその祭は非常に早く行われるという習慣があるからと言えます。祭を行うということは、正教会において「聖体礼儀」を行い、そして領聖するという他にありません。つまり、本来の伝統では領聖の前の禁食は、祭や暦の度合いに比例してその時間に長い短いがあるということです。現在はあまりきっかりと守られているわけではありませんが、言い換えれば、少しでも早く、一時間でもはやく復活祭を御祝いしたいという心から、復活祭を日付がかわった直後に行うということです。

これら三つの側面、すなわち過越の祭の成就、携香女たちの体験、最大の祭を祝うという三つに共通することは、ハリストスの復活が、自分自身の復活」と結ばれるという点です。正教会の奉神礼は、すべて私たちとハリストスが一つになるためにある、と言っても過言ではありません。

イスラエル民が過越の救いを得たように私たちもハリストスの復活の救いを獲ます。携香女たちが復活の慶びを全身に浴びたように私たちも復活の力をいただけることを慶び祝いします。そのためにこそ領聖して、ハリストスの死と復活を全身に受け留めてまいりましょう。

5月聖名日
モレーベンのご案内
5月18日(日)聖体礼儀後

5月の聖名日モレーベンに該当する
方々の一覧です。



▲聖マルコ



▲聖イリナ

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
5/6	ゲオルギイ (聖大致命者凱旋者)	伊勢英明、大窪嘉彰
5/8	マルコ (聖使徒福音者)	沖津省己、熊谷経光、平塚 徹 横山 望、吉田光広、大窪 司 マーク・モラレス
5/14	タマーラ (グルジヤの聖女)	秋保志津絵
5/17	ペラギヤ (タルスの聖致命女)	本間利子
5/18	イリナ (テサロニキの聖大致命女)	岡崎文子、山村陽子、本間梨華、 渡辺ひろ子、
5/22	イサイヤ (聖預言者)	葛西宥清、木村浩大、佐藤 功 平塚 洋、伊勢 光
5/23	タイシヤ (エジプトの福者)	昆ひろ子、高橋綾子
5/23	シモン (聖使徒 ジロト)	平塚 勝
5/31	マトロナ (アンキラの聖致命女)	勝又百々子
5/31	アレキサンドラ (アンキラの聖致命女)	勝又稚佳子

献金報告 (7.3.22~7.4.22)

○聖堂内献金 十一万九千七百五十六円

○感謝献金

マーク・モラレス(帰正式)

太田ちえ子、清水格・彩子

渡邊千枝

荻生征子、児玉繁子

○復活大祭献金

木村幸子

入野武彦、東海林としえ、木村良

治・浩大、土田定克、清水格・彩

子、山田喜美雄、岡崎たい子、

山野辺隆二、熊谷経光、太田信、

平塚裕、コマロフ・セルギイ

鈴木三千代、八文字積子、大場う

め子、太田ちえ子、村井恵子、増

子陽子、水口敦子、勝又禮子、秋

保明、山田弘子、山中由美、山寺

しちよ、笹川皓、笹川純子、佐藤

由枝、佐藤幾久子、高橋清太、高

橋紀武、高橋英俊・秋子、加藤進、

岡多喜子、遠藤正義、永沢正輝、永

元道子、永元亜紀子、伊藤智子、伊

執事会報告

令和7年4月1日(火)

午後14時～15時30分 3階会議室

一、報告事項

○防火関係

消火器14本交換と予備バッテリー交換が終了。定期保守点検契約は、中央理化工業に依頼した。正式に契約を行う。

○宣教キャラバン 涌谷正教会 震災の記憶 詳細は会報を参照。

○会計報告 一般/収益

定額献金 76%、参堂献金 111%、臨時献金 152%。分担金は完納した。

5月号の会報に年度末のお知らせと定額献金のお願いを掲載する。

二、検討事項

(1) 受難週・復活祭にむけて

・隣接のマンションに挨拶のポストインが必要。

・復活祭祈祷後の食事は、炊き込みごはん豚汁に焼き豚など、飲み物と乾き物程度とする(婦人会より)。

・食事会場は人数が少ないことを見込んで四階ではなく三階の部屋としたい。

(2) モミの木の剪定について

庄子造園という所から剪定を行うに3万円(税別)の見積もりが出た。少額であることから、取り敢えず剪定を行うことにする。以後、見栄えがよくなかったり枯れたりした場合、植え替え(約15万円の見積もりもある)もしくは伐採も含めて種々検討していく。

(3) ライトアップについて

LED化は高額であることが判明した。入れ替えは保留とする。破損している土台については何かしらの補強を施したい。

三、その他

・合同洗礼への申し込みは無し。

・プリウス教会車の車検予定 4/24。



一主の昇天祭

徹夜祈 5月28日(水) 17時～

聖体礼儀 5月29日(木) 9時～

ハリストス我等の神よ、爾は光栄の中に天に昇り、聖神を遣すを約して門徒を喜ばしめ給えり

○墓地祈祷献金

藤光子、熊谷道子、山本理恵子、高橋聡樹、岡部齒科、本多弘明、平塚清、平塚喜美子、大泉巖、瀬戸まみ、菅原伸之、菅原きみ子、若松亮一、山田廣志、佐藤明彦、佐々木隆、昆守、高橋哲郎、及川聡子、葛西弘子、恩田修、岡崎文子、岡潔、横山美貴子、井戸久未子、高橋文彦、遊佐なみ子、大窪仁、小原淑子、山田恵津子、高橋ゆり、吉田光一

○パニヒダ献金

勝又禮子
木村憲治・富子
伊藤哲子(イオナ伊藤兄40日祭)
勝又良樹、岡多喜子
太田ちえ子、荻生征子
高橋嘉彦、伊藤光子、伊勢洋子
山中由美、岡崎文子、飯塚順子



※敬称略

5月行事・奉事予定



3日(土) 徹夜禱はお休み
 4日(日) 携香女の主日代式祈禱(10時30分)
 書札 使徒行実 6:1・7
 福音 マルコ 15:43・16:8

◆聖堂清掃奉仕の日

3・4日水口神父白河巡回
 4日(日) 10時復活祭早課・聖体礼儀

6日(火) 執事会(14時)

10日(土) 主日徹夜禱(調は五旬經に依る)(17時)
 11日(日) 癱者の主日聖体礼儀(10時)
 書札 使徒行実 9:32・42
 福音 イオアン 5:1・15

◇月例パニヒダ ○婦人会・方舟会

11日(日) 中新田正教会・代式祈禱(10時)
 15日(木) 東北ブロック拡大宣教会議
 於…仙台

17日(土) 主日徹夜禱(調は五旬經に依る)(17時)
 18日(日) サマリヤの婦の主日
 聖体礼儀(10時)

書札 使徒行実 11:19・26, 29・30
 福音 イオアン 4:5・42

▼聖名日感謝祈禱

23・24日水口神父中新田巡回
 23日(金) 17時 晩禱
 24日(土) 10時 聖体礼儀(主日先取り)

24日(土) 主日徹夜禱(調は五旬經に依る)(17時)
 25日(日) 警者の主日聖体礼儀(10時)
 書札 使徒行実 16:16・34
 福音 イオアン 9:1・38

○ミニ講話

28日(水) 祭日徹夜禱 祭日調(17時)
 29日(木) 主の昇天祭聖体礼儀(9時)
 書札 使徒行実 1:1・12
 福音 ルカ 24:36・53

31日(土) 徹夜禱はお休み
 6月1日(日) 諸聖神父の主日
 代式祈禱(10時30分)
 書札 使徒行実 20:16・18、28・36
 福音 イオアン 17:1・13

31・6月1日水口神父白河巡回
 31日(土) 18時 主日徹夜禱
 6月1日(日) 10時 主日聖体礼儀

5月の集会予定は以下の通りです。

- 【聖堂清掃奉仕】→4(日)
- 【月例パニヒダ】→11(日)
- 【方舟会・婦人会】→11(日)
- 【ミニ講話】→25(日)
- 【聖歌隊練習日】→4(日)、11(日)、18(日)、25(日)[発声]
- 【伝道会】[18時~] 7(水)、21(水)
 14(水)と28(水)はお休み



定額献金完納のお願い

定額献金(教会費)の納入につきましては、平素よりご協力頂き感謝しております。今年度も年度末(5月末)を間近に控えております。定額献金のお早目の納入と完納にご協力下さいますようお願い申し上げます。下記の郵便振替口座のご利用も可能です。

【郵便振替口座】 02270-0-5303
 加入者名 仙台ハリストス正教会

※ 会報に掲載されました写真でご希望のものがあればプリントいたしますのでご遠慮なく申し出ください。